

# アギナシ

Sagittaria aginashi (Makino) Makino

オモダカ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

## 選定理由

かつてはごく普通に見られた植物で、1960年代以降は急減して稀産の植物となり、産地も限られるようになった。(現況:V2-)

## 形態

オモダカとよく似ているが、秋になると葉柄の内側に多数の小さい珠芽をつける点が著しい特徴である。葉は基部が二つに裂けたやじり形で、下方の二つの裂片は上方のものより短く、先は尖らない。走出枝は出さない。

## 国内分布

日本特産で、北海道から九州まで分布。

## 県内分布

奥能登の外浦区、中能登区、口能登・加賀中央部の加賀中央区、南加賀の南加賀区などに分布。奥能登と南加賀に残存している度合いが相対的にいくらか高い。

## 生態など

水草で抽水植物。種子のほか珠芽で繁殖する。

## 生育環境

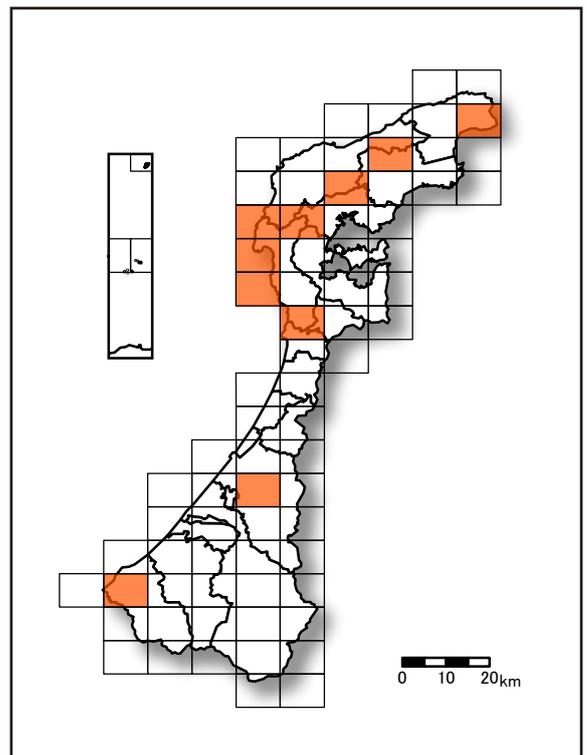
もとは水田雑草であるが現在は低地の湿地や除草剤のかからない溝などに生育。

## 危険要因

農薬汚染、湿地開発、自然遷移。



小野ふみゑ・2005年8月26日・珠洲市



県内の分布